

科目名 (科目番号)	臨床心理学	教員名 山本 哲也	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照	単位数		1
			授業形態	講義	オフィスアワー	火2 B320研究室	
授業概要	臨床心理学は、心理学の諸領域における知見を、心理的援助を必要とする人とその関係者に援用する実践活動である。本講では、今後、臨床検査技師の接触機会が増加すると考えられる認知症患者やその家族に焦点をあて、認知症の基礎知識、認知症患者やその家族の心理と対応、認知症の検査における神経心理学的検査の概要、実施、結果の解析と評価について学習する。						
目的・目標	目的:認知症の検査における神経心理学的検査の実際、結果の解析・評価方法を習得する。 目標:①認知症患者やその家族の心理を理解し、神経心理学的検査時の注意事項を説明できる、②認知機能行動・心理症状といった神経心理学的検査の特徴について説明できる、③神経心理学的検査の結果の解析、評価等について説明できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	認知症の基礎	到達目標:認知症の医学的側面および具体的な症状等について理解する。 学習内容:認知症の原因疾患、認知症の行動心理症状等				
	2	認知症患者の心理と対応	到達目標:認知症患者およびその家族の心理とその対応について理解する。 学習内容:認知症患者および家族の心理				
	3	認知症検査の注意事項	到達目標:心理検査および認知症検査における神経心理学的検査実施に際しての注意事項について理解する。 学習内容:心理検査実施上の注意事項、認知症検査における神経心理学的検査実施上の注意事項				
	4	認知機能の評価尺度(1)	到達目標:認知機能の評価尺度の特徴について説明できる。 学習内容:総合的評価尺度、記憶機能の評価尺度、言語機能の評価尺度等				
	5	認知機能の評価尺度(2)	到達目標:認知機能の評価尺度の特徴について説明できる。 学習内容:視空間認知機能の評価尺度、前頭葉機能の評価尺度				
	6	行動心理症状の評価尺度(1)	到達目標:行動心理症状の評価尺度の特徴について説明できる。 学習内容:総合的評価尺度(CDR、NPI)				
	7	行動心理症状の評価尺度(2)	到達目標:行動心理症状の評価尺度の特徴について説明できる。 学習内容:行動症状の評価尺度、心理症状の評価尺度				
	8	検査結果の解析と評価	到達目標:神経心理学的検査の解析と評価について説明できる。 学習内容:検査結果の解析と評価、総合的な報告書作成の心得等				
成績評価の方法・基準	期末試験100% (対面・オンライン共通)						
教科書	最新臨床検査学講座 チーム医療論／多職種連携・栄養学・薬理学・認知症		諏訪部章・奈良信雄・三村邦裕 編著		医歯薬出版		
参考図書	よくわかる認知症予防専門テキスト 上巻		一般社団法人 日本認知症予防学会 監修 浦上克哉・児玉直樹編		メディア・ケアプラス		
教員からのメッセージ	オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。必要に応じて授業の内容を変更することがあります。						